

人工湿地による低コストな坑廃水処理の実証試験を実施しました

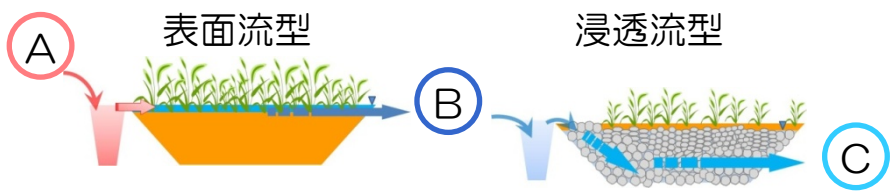
背景

- 休廃止鉱山からは、有害な坑廃水が排出され続けています。
- 薬剤費、人件費等の処理費用の負担が大きく、低コスト、省エネの坑廃水処理が求められています。

成果

1 人工湿地（表面流型・浸透流型）による実証試験

2タイプの人工湿地を直列に配置し、地点A・B・Cで濃度測定。

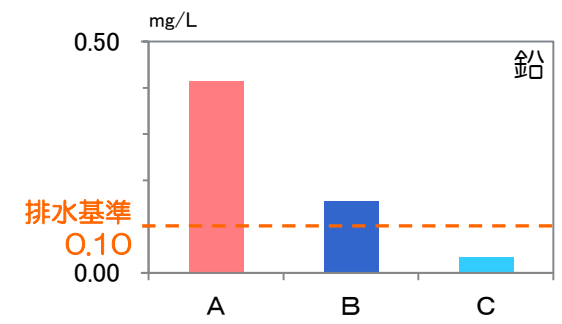
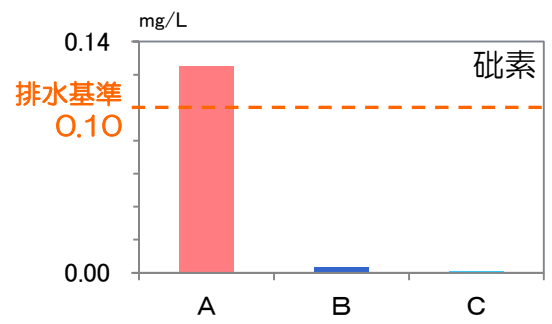
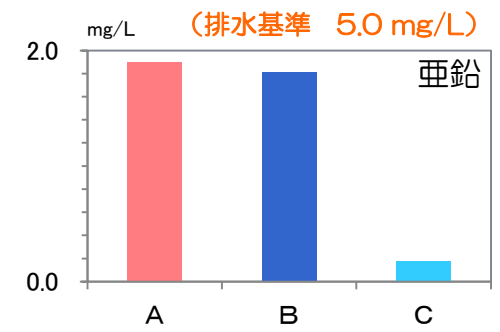
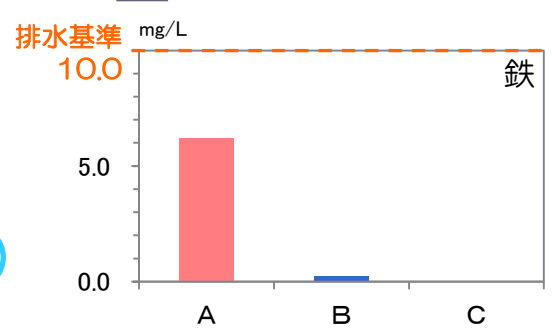


- 湿地表面で鉄、砒素などを除去。



- 石灰石の砕石を使用。
- 酸性の廃水を中和して、亜鉛、鉛などを湿地内部で除去。

2 人工湿地による濃度の低下効果を確認



表面流型・浸透流型を組み合わせることで、排水基準をほぼ100%達成。

期待される効果

- 実用化に向け、平成25年度に枝幸町の廃止鉱山で人工湿地の造成予定。
- 国内の休廃止鉱山における坑廃水処理に導入され、処理費用を削減。